

## ☆作業日あれこれ

例年より遅い桜がようやく見頃になった作業日(14日)でしたが、天気は雨、参加者の人数が気になります。



水曜日のお昼です

スタッフもなんやかんやでマルや三平トキが不在、市の職員も定例の人事異動で入れ替わり盆栽お宅もいないしなど思っていると、始まる頃に自転車でさっそうとお出ましです。ハムロイド村突撃隊長や親方の姿もあり、今月の作業日が始まりしました。

自然観察会はシツの担当で、春の花の観察会です。まずは、一昨年にキッシーが見つけたカア材からです。この地域の標高(120m)では本来生育していないものですが、愛知川の河辺林では対岸や上流の森で見かけたことがあり、この森にもないかなと10年以上探してた植物なのです。ギフチョウやヒメギフチョウの食草としても有名です。名前のカア材(寒葵)ですが、冬の寒さにも強く年中葉を付けていることと葵に似た葉の形からついた名前です。花は特殊で地面に先を伏せたような状態で咲くのでチやチョウがやって来て受粉させるということはできず、よくわからないのですがナメクジやカタツムリ、ヤスデなどが受粉に関わっているのではないかとされています。種子も風に乗ることもはじけて遠くに飛ぶこともなく、アリが運ぶのではと考えられています。そのために広がるスピードは極めて遅く1万年で1km(10年で1m)とも言われており、地域ごとに固有種が発生しやすく正式な同定はなかなか難しい代物のようです(この森のカア材は、シマア材に分類されるようです)。

この森の群落は洪水の際に上流から種か株が運ばれたと考えるのが妥当でしょうが、よく調べると数メートル離れたところに大きなこの群落とは別の小さな群落が見つかりました。この森が最後に愛知川の氾濫により攪乱されたのは伊勢湾台風でおよそ50年前ですから、その時に流されて来てその後広がった群落と見なすと広がる速さを実感できるのではないのでしょうか。生育にあたっては強い日差し

と乾燥に弱いので、保全には適度の照度コントロール(現在は疎林になっていることと刈刈をしてしているために日差しが強すぎるか?)が必要ではと思っています。

この日の春の花観察会では、今年は当たり年だと感じているシュラン(春蘭)の花を観ながら森の一番奥のモジの林まで行きましたが、モジの林は緑の若葉、ヤマザクラやキザキイチゲは既にシーズンを終えていましたが、やっと咲き始めたイリソウ、コブシは一輪しかない蕾が開き、ツバキは見事な花筵を観察路に広げていました。新緑には少し早いけれども春の花を堪能した観察会でした。



初めてのカナヘビ?

作業は参加者が少ないのと雨のために野外での作業は2班、馬力のある縦型の薪割機で、玉切りにした大きな樹を荒割りした後小さな薪割機を使用して薪にする作業と、木道の近くで増え過ぎたア材を駆除する作業です。番外としてのお昼の食材調達班は、バルやヨモギ、タラ芽など山菜を採集するのですが、毎回、この作業は大先生の指導です。

この日のお昼は誰が何と言おうがクには一番の、味の浸みた焼き豆腐の煮物、これを見た時、午後に案内をしなければならぬレイトイ大学のナラ枯れ研究班の方々を思わず見やっしまいました。今日はマルも三平トキも不在、案内する代打はいません。焼き豆腐を肴に喉を潤すのは良し、それ以上はダメと言いつつ親方や突撃隊長とお昼をいただきました。いつものミーティングでは、レイトイ大学の方々も参加、初めて作業に参加して一言をしゃべっていただきましたが、参加者の年齢や性別などの幅の広いことに感心しておられました。いつもだと小学生や現役の大学生も参加しているのですが、この日は彼らが参加していなかったにも関わらず…です。もちろん、午後にはちゃんとクは森を案内したことと、雨も上がり皆様は作業をしたことを報告しておきます。

5月の作業日は

5月23日(水曜日) 週日活动 森の居酒屋は5月9日 午後7時頃～

**5月12日(第2土曜日)9時～(遅刻可)**

**主催者：遊林会**

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきもの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: [ikimono@e-omi.ne.jp](mailto:ikimono@e-omi.ne.jp)

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

水曜の作業は第四水曜日の活動日は、炭焼き材づくりのための伐採がメインでした。チェーンソーがないと伐れないくらいの大きさのアカシを3本、そしてその前の強風で道に倒れていたスギの木の処理、午後からは薪割りと充実の一日でした。そして、その充実した一日を支えているのがお昼です。実は水曜のお昼は手の込んだ料理がおいしい日なのです。ちょっと料理を紹介。今回は9品。春の炊き込みご飯に、味噌汁。天ぷら3種、タノの山椒味噌和え、ワケの葉の佃煮、ワケとタノの炊いたの、鮭と鯖の南蛮漬け、トマトとポテトのチーズバジルソース和え、トマトとブロッコリーのサラダです。これだけの品数を作るのも大変ですが、どれも手間入りの品です。炊き込みご飯には、森のハクにはまだ早いので、松本さんのモリウチにワビ、ワケなど。天ぷらはタノの芽や三つ葉など森の恵み。タノの山椒味噌は和えてしまうと風味が飛んでしまうとのことで、わざとつけて食べるようにしています。保全作業も興味があるけれど、おいしそうなお飯も気になる…という方も活動日にお待ちしております。

## ★4月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。4月は1回の活動を行いました。4/19 6人 林内各所の枯れた木（コナラ、サクラ、アカシ）、及びシロを伐採してもらいました。午後からは伐った木の薪割りも実施しました。5月は17日が活動日です

## ★河辺いきものの森情報

新年度になり、スタッフの顔ぶれも変わりました。市の職員は、盆栽オタクの藤田さん、絵が上手な松宮さんが移動となり、新しく山下さんと畑さんが勤務してくださっています。遊林会のスタッフでは、カネでのっぼの井上君が大阪で就職が決まり、今年から一年間はカネで元気いっぱい。西村恵さんが働いてくれることになりました。

「この4月から遊林会で働くことになりました西村恵です。大学生の時野外スポーツを専攻し、キャンプを通して子どもたちを指導してきました。この経験を活かして、子どもたちと森での発見やおもしろさを共有できる職員になっていきたいです。よろしくお願いします！」

春休み中は、The100(ザ・ハンドレッド)を毎日行って、とってもにぎやかでした。春休み期間中に170人もの方が挑戦しに来てくれ、その中で100問すべてクリアした強者は、51人です!!100問のうち、挑戦者達が苦戦していたのは、弓矢などの的当て、竹つみ、ドンダミ迷路などのチャレンジするものが多かったです。100問達成するためには、森の中のクイズや探し物など、何度も森の中を歩きに行かないといけなかったのですが、楽しみながら一生懸命取り組んでくれました。

青空に新緑がとっても美しく気持ちのよい五月晴れの4/27には、小学4年生のやまのこ事業も始まりました。本当に森を歩いて飽きない日、もっともっと探検したい!と子どももスタッフも思うような日でした。午後からは竹工作もし、一日たっぷり春の森を楽しんで帰ってくれました。また28日には、大阪市環境事業協会主催「はるのもりを めいっぱい たのしもう」を遊林会主催で実施しました。大阪の親子13組を対象に、子どもも保護者も、春の気持ちのよい森で、いつもよりステキな表情で一日すごしてくれました。ちなみに13組に対するアンケート結果、「楽しかったか」という5段階評価の問いには13組全員から「5点満点」をいただきました!5月からはやまのこ事業、やまの子キャンプ、モリイコ!・・・休む間もなくいろいろな事業が入っています。忙しくなる前に、一番キラキラした森をゆっくりと楽しもうと考えています。

## ★室内楽コンサート&みどりのつどい

今回は、オーボエ・バイオリン・ピアノ・チェロによる四重奏です!日本センチュリー交響楽団のメンバーによるコンサートです。モーツァルトやドボルザークなど馴染みのあるメロディを演奏していただきます。夕暮れ時の春の森の中で、ステキな音色に包まれたゆったりとしたひとときをすごしに来てみませんか。

♪♪5月19日(土) 17時30分から開演です。チケット(1,000円)は販売開始していますので、お早めにお電話ください。

毎年恒例の「みどりのつどい」は、今年も大塚まつりに合わせて5月27日(日)に開催します。遊林会の出店のお手伝い、よろしく願います。

## ★H24年度モリイコ!について

今年度は、去年の参加者向けのモリイコ!Sと、従来のモリイコ!の2コースを実施します。モリイコ!Sは抽選も済み参加者が決定しましたが、モリイコ!はこれから抽選を行います。人気で嬉しいのですが、落選してしまうことも考えると喜んでばかりもいられない複雑な気持ちです。今年度も、子どもたちがまた森に行こう!と思えるプログラムを行っていただけるよう、スタッフも気持ちを新たにがんばっていきましょう。

## ★5月の作業は…

新緑美しい5月の森では、下刈りなどをはじめとした作業を中心に実施します。木の緑や花を愛でながら、心地よい汗を流しましょう。

**容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします!**